

医療法人社団玄洋会

# 道央佐藤病院／北海道メンタルケアセンター

苫小牧市樽前234 ☎(0144)67-0236

苫小牧市若草町5丁目1番5号 ☎(0144)34-2969



## 「医療と福祉の融合」くつろぎの療養環境 精神科医療と高齢者医療の連携を強化

日胆地区における精神医療の草

つてきた。

設計された。

矢代町に佐藤病院として開院。以来、創設者の佐藤玄二医学博士（故人）がめざした四季折々の自然との対話ができる環境の中で、医療と福祉の原点を見つめたいを基本理念に精神障がい者の社会復帰施設や高齢者福祉施設などを整備、医療と福祉のネットワークを構築。地域における精神医療、認知症治療の先駆的基幹病院としての役割を担

一昨年、さらに推し進めた精神科と高齢者の医療連携の確立と時代の趨勢を考慮した広い療養環境の実現、個室病室や病棟内の精神科療法活動室の整備を考え、三つの病棟を新築した。

精神科デイケアが新たに併設され、新しい仲間と新しい工夫を学び練習する場としてSST（生活技能訓練）WRAP（元気回復行動プログラム）が行われているほか、高齢者相談センターも新設。専門の相談員が患者・家族の悩みに的確なアドバイスや情報を提供するなど、支援体制を一段と充実させた。



患者・家族の視点で設計された外来待合室

一階の高齢者病棟は、入院者が気軽に二日を過ごせるよう広々としたダイニングを病棟中央に配したほか、居室となる病室の窓を従来よりも広く、大きくとって開放感を持たせている。整備された日本庭園を病室やダイニングから眺めることができ、ランダムを利用しゆつたりと外とのふれあいもできる。浴室は、敷地内で湧出している天然温泉を利用。入院者の機能にあわせた浴槽が整備されている。

外来待合室は、これまでのイメージを一新。天井を高くとり、壁面は石タイルに大理石をあしらった柱で、ホテルのロビーを思わせるつくり。これは閉塞感を取り除き、より開放的なつくりで、不安な心を抱いて訪れる患者・家族の心を入り口から癒したいと、患者・家族の視点に立つて

一方、外来専門施設として、苫小牧市若草町5に開設されている「北海道メンタルケアセンター」では、専門の医師が心療内科、精神科、内科、児童・思春期精神科、老年精神科の診療にあたり、ともに専門の臨床心理士・相談員がさまざまな心の悩みを持つている人たちがその家族からの相談を受けたり、適切な援助（医療）機関の紹介、日常生活を続けながら地域で自立できるように支援にあたっている。また、思春期の子どもから高齢者まで幅広いケア体制がとられ、高齢者福祉とそれを支える医療をグループ全体で相互に扶助している。

1976年札幌医科大学卒業。札幌医大病院神経精神科助手、名寄市立総合病院神経精神科医長などの後、2004年から道央佐藤病院長。精神保健指定医、精神神経学会認定専門医・指導医。

北海道メンタルケアセンター  
苫小牧市若草町5 ☎0144-34-2969  
<http://www.wakakusa-s.or.jp>  
診療時間：平日／9:00～17:00  
夜間診療：毎週水／17:30～19:30  
休診日：日・祝日

<http://www.douousatou.or.jp>



医療法人社団玄洋会  
道央佐藤病院  
院長 石川 幹雄



外来専門の北海道メンタルケアセンター。